

平成24年度における知床エコツーリズム戦略(案)の試行について

1. 目的

- 試行を実施し、その評価を行うことでより良い戦略を策定する。
- 試行結果を踏まえ、提案から決定までの手順、提案のフォーマットなどを定めた戦略の事務取扱要領を作成する。

2. 進め方

- 4月以降に斜里町と羅臼町を窓口として地元からの提案を募集する。
- 第1回検討会議において提案について議論し、継続審議する提案を決定する。なお、検討会議の3週間前までに事務局に提示のあった提案のみを対象とする。
- 第1回検討会議後、個別部会等を設置し、詳細な検討を実施する。
- 第2回検討会議において個別部会等から報告を行い、提案内容について判断する。

3. 提案にあたっての留意事項

提案者は斜里町、羅臼町の担当者の助言を得て、以下の3点を満たす資料を作成し、事務局まで提示すること。また、可能であれば当該地域の現状などの必要な背景資料を添付すること。

- 提案の具体的な内容
- 戦略の基本原則との対応
- 個別部会の想定メンバー

4. 平成24年度における提案内容の審議について

平成24年度は試行であるため、提案の審議は2件までとすることとし、複数の提案が提示された場合には平成24年度に審議する提案を以下の項目を参考に優先順位を付け、第1回検討会議において決定する。平成24年度に審議を行わなかったものについては、平成25年度以降に審議を行うものとする。なお、平成24年度は検討会議構成員からの提案のみを受け付けることとする。

- 優先順位付けの考え方
提案から決定までの過程を把握するため次の項目を参考に選定する。
 - 1) 実現性のより高いものを選定する。
 - 2) 緊急性のより高い提案を優先に選定する。

5. 試行方法の評価について

提案募集や個別部会等の設置と運営に関し、起草部会及び第2回検討会議に報告し、試行方法の評価を行うとともに、戦略の記載内容、戦略の事務取扱要領に関する検討を行う。